

一関工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	総合英語 I B (コミュニケーション)
科目基礎情報					
科目番号	0003	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	未来創造工学科 (一般科目)	対象学年	1		
開設期	後期	週時間数	4		
教科書/教材	Blue Marble ENGLISH COMMUNICATION I (数研出版)				
担当教員	千葉 圭				
到達目標					
テキストのレベルに合わせた英語によるコミュニケーションの基礎的な能力を身につけ、読み・書き・聞き取り、英語で表現することができるようになる。 【教育目標】 A					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
内容の理解度	内容を完全に理解し、英語でも日本語でも要約できる。	流暢に読み、話せる。	十分には内容を理解できず、説明することができない。		
語彙・文法の獲得	すべての語彙と文法を獲得し、自由に使える。	大部分の語彙と文法を獲得している。	十分には獲得できていない。		
リーディング・スピーキング	流暢に読み、話せる。	ゆっくりではあるが、読み、話すことができる。	途中でつかえてしまい読むことも話すこともできない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育目標 A					
教育方法等					
概要	検定教科書を使って、「読み・書き・聞き・話す」という4つの技能をバランス良く向上させるためにプリント等を利用して学習する。				
授業の進め方・方法	教科書と補助教材を用いて進める。詳細は第1回の授業で告知する。				
注意点	【事前学習】 予め、学習する内容の中で、分からないことを辞書を用いて調べておくこと。 【評価方法・評価基準】 試験100%で評価する。レポートの提出を求めることもある。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	LESSON 6 Human Evolve with Measurements	様々な単位がどのようにして生まれたかを学ぶ。	
		2週		英語の語順Ⅲ・関係代名詞	
		3週		問題演習・復習	
		4週	LESSON 7 Bio-logging: Discover Animals' Secret	野生動物に装着した装置から分かった動物の秘密について学ぶ。	
		5週		英語の語順Ⅳ 関係副詞	
		6週		問題演習・復習	
		7週	LESSON 8 What to Do with Too Many Tourists	オーバーツーリズムの実態について学ぶ。	
		8週		動詞の形Ⅳ 仮定法	
	4thQ	9週		問題演習・復習	
		10週	LESSON 9 Surviving in the Information Age	フェイクニュースなどの情報がはびこる社会について学ぶ。	
		11週		情報関連の語彙	
		12週		問題演習・復習	
		13週	LESSON 10 The Spirit of Zen: Less is More	禅の精神について学ぶ。	
		14週		言語材料の総まとめ	
		15週		問題演習・復習	
		16週	期末試験	後期の内容が理解できる	
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	

				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	1	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	1	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	1	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	1	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0